

秩父市議会要覧

令和7年版



秩父市議会

目 次

1	秩父市の概要	1
2	議会構成	2
3	議員の年齢別当選回数	3
4	議員報酬等	3
5	本会議の開催状況	4
6	一般質問者数	4
7	市長提出議案の件数	4
8	議員提出議案の件数	4
9	請願・陳情の処理状況	4
10	委員会の状況	5
11	常任委員会の開催状況	6
12	市議会だより	6
13	本会議のテレビモニター生中継及びインターネット録画中継	6
14	令和7年度会計別歳入歳出予算総括表	7
15	令和7年度一般会計当初予算構成一覧表（歳入）	8
	令和7年度一般会計当初予算構成一覧表（歳出）	9
16	令和5年度普通会計決算の概要	10
17	担当委員会別行政機構	11
18	議会事務局の組織	12
19	常勤特別職等の給与	12

1 秩父市の概要

秩父市は、平成17年4月1日に旧秩父市、旧吉田町、旧大滝村、旧荒川村の1市1町2村の新設合併により新秩父市として誕生しました。

本市は埼玉県の西部にあり、北は群馬県、西は長野県、南は山梨県および東京都に接し、東京都心から60～80 km圏内に位置しています。

面積は、577.83 k m²で埼玉県全体(3,797.25 k m²)の約15%を占める大きさとなります。また、その約87%を山林が占め、2,000mを越す甲武信ヶ岳、三宝山、雲取山といった急峻な秩父山地を抱えています。

地域のほとんどが秩父多摩甲斐国立公園や武甲、西秩父などの県立自然公園の区域に指定されており、自然環境に恵まれた地域です。また、甲武信ヶ岳に源を発する荒川の清流が本市の中央を流れ、その本・支流域には秩父湖(二瀬ダム)、秩父さくら湖(浦山ダム)、西秩父桃湖(合角ダム)及びもみじ湖(滝沢ダム)の4つのダム湖が形成されています。

本市の歴史は古く、奈良時代には秩父市黒谷地内で採掘された自然銅が時の天皇に献上されたことにより年号が和銅と改められ、国産貨幣「和同開珎」が発行されたと伝えられています。江戸時代中期になると養蚕や製糸業が発達し、秩父絹、秩父銘仙として声価も高く今日まで受け継がれ秩父地域の特産品となっています。

こうした歴史を背景として本市には、平成28年12月にユネスコ無形文化遺産に登録された秩父祭を始め、平成30年3月に国重要無形民俗文化財に指定された秩父吉田の龍勢、パワースポットとして名高い山岳信仰の三峯神社、荒川白久の串人形など、多数の有形無形の文化財や郷土芸能が継承されています。秩父札所34ヶ所は、西国・坂東各33ヶ所とともに日本百観音霊場に数えられています。このうち25ヶ所が市内にあり、いずれも市指定文化財(史跡)となっています。

また、豊かな自然環境に恵まれており、羊山公園の芝桜、清雲寺のしだれ桜、中津峡の紅葉、三十槌の氷柱など、県内外から多くの観光客が訪れています。近年では、秩父が舞台設定のモデルになったアニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない」「心が叫びたがってるんだ」「空の青さを知る人よ」を契機に、全国からファンが訪れ、アニメの聖地としても注目されています。

秩父地域の交通としては、交通基盤の骨格をなす一般国道140号が縦断する形で荒川・中津川沿いに走り、一般国道299号が市の中心部を横断しています。

国道140号においては、雁坂トンネルの開通及び皆野寄居バイパスの開通により、山梨県方面への交通の利便性が飛躍的に向上し、地域高規格道路となる西関東連絡道路の整備についても、今後早期に進むことと予想されています。

位 置	東経 139度05分 北緯 35度59分 (海拔233.2m)
面 積	577.83km ²
人 口	56,848人 (男)27,850人 (女)28,998人
世 帯 数	26,017世帯 (人口及び世帯は外国人を含む)

2 議会構成 (令和7年5月1日現在)

(1) 議員数 (定数：19人 現員数：18人)

平成17年4月 議員数：60人。旧秩父市・旧吉田町・旧大滝村・旧荒川村が合併し、在任特例を1年1か月間適用する。

平成18年5月 議員数：30人。合併協定により、平成18年4月の一般選挙から地方自治法上の議員定数(30人)とする。

平成18年9月 秩父市議会議員の定数を定める条例を制定し、議員定数を26人とし、平成22年4月の一般選挙から適用することが決まる。

平成22年4月 任期満了に伴う一般選挙を行い、議員数は条例定数の26人。

平成23年6月 秩父市議会議員の定数を定める条例を改正し、議員定数を22人とし、平成26年4月の一般選挙から適用することが決まる。

平成26年4月 任期満了に伴う一般選挙を行い、議員数は条例定数の22人。

平成30年4月 任期満了に伴う一般選挙を行い、議員数は条例定数の22人。

平成30年9月 秩父市議会議員の定数を定める条例を改正し、議員定数を19人とし、次の市議会議員一般選挙から適用することが決まる。

令和4年4月 任期満了に伴う一般選挙を行い、議員数は条例定数の19人。

(2) 会派別議員数 市民クラブ：6人 まほろば：5人

新政ちちぶ：2人 公明党：2人

会派に所属しない議員：3人

3 議員の年齢別当選回数

(令和7年5月1日現在)

回数 年齢	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	合計 (人)
71～80歳	1	1		1		1				4
61～70歳	2	2		2		1	2	1		10
51～60歳	1	1	1							3
41～50歳			1							1
31～40歳										0
25～30歳										0
合計(人)	4	4	2	3	0	2	2	1	0	18

※合併前の各市町村議会での当選回数を含む。

4 議員報酬等

(1) 報 酬 (平成17年4月1日制定)

議 長 412,000円 副 議 長 361,000円

常任委員会委員長 348,000円 常任委員会副委員長 346,000円

(議会運営委員会委員長を含む)

(議会運営委員会副委員長を含む)

議 員 343,000円

(2) 期末手当 (令和6年12月1日改正)

6月	227.5/100	}	合 計	455/100
12月	227.5/100			

(3) 政務活動費 (平成28年4月1日改正)

会派1人当たり月額 15,000円

5 本会議の開催状況

(令和6年)

本会議の区分	会期	開催日数	傍聴者数	市長提出議案	議員提出議案
3月定例会	23日	6日	141人	36件	2件
5月臨時会	1日	1日	0人	4件	0件
6月定例会	21日	6日	104人	5件	3件
9月定例会	22日	6日	78人	22件	0件
12月定例会	24日	6日	93人	31件	0件
合計5回	91日	25日	416人	98件	5件

6 一般質問者数

(令和6年)

区分	3月定例会	6月定例会	9月定例会	12月定例会	計
質問者数	15人	11人	14人	11人	51人

7 市長提出議案の件数

(令和6年)

区分	条例	議決	予算	決算	専決処分	その他	計
定例会	26	14	35	10	3	6	94
臨時会	0	1	0	0	3	0	4
計	26	15	35	10	6	6	98

8 議員提出議案の件数

(令和6年)

区分	条例	規則	意見書	決議	その他	計
定例会	1	2	1	1	0	5
臨時会	0	0	0	0	0	0
計	1	2	1	1	0	5

9 請願・陳情の処理状況

(令和6年)

(請願)

受理件数	採択	趣旨採択	一部採択	不採択	継続審査	取り下げ
0	0	0	0	0	0	0

(陳情)

受理件数
3

※当市では、原則的に陳情については審議せず議長預かりとし一覧表を配布している。

10 委員会の状況 (令和7年5月1日現在)

(1) 委員会構成人数

議会運営委員会 : 8人 (その他に正副議長がオブザーバーとして参加)
 総務委員会 : 6人
 まちづくり委員会 : 6人
 文教福祉委員会 : 5人
 ※議長はすべての常任委員会のオブザーバー

(2) 特別委員会の設置状況 (平成17年4月～)

期 間	委 員 会 名	構 成 人 員
17. 6. 23～18. 3. 15	危機管理・ダム対策特別委員会	12人
17. 9. 26～17. 12. 15	旧秩父市・旧吉田町・旧大滝村・旧荒川村決算審査特別委員会	旧秩父8人 旧吉田6人 旧大滝6人 旧荒川6人
18. 5. 17～18. 9. 21	総合振興計画特別委員会	12人
18. 5. 17～21. 3. 19	危機管理・ダム対策特別委員会	12人
18. 12. 20～20. 12. 18	有害鳥獣対策等調査特別委員会	8人
20. 3. 24～20. 6. 18	大輪分譲用地対策特別委員会	10人
22. 5. 21～25. 3. 13	議会改革特別委員会	8人
22. 12. 15～25. 12. 18	市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会	7人
26. 6. 25～27. 6. 16	水道事業調査特別委員会	8人
26. 9. 25～28. 3. 16	議会基本条例制定特別委員会	11人
26. 12. 16～26. 12. 25	工事請負契約審査特別委員会	12人
27. 12. 16～28. 3. 16	総合振興計画調査特別委員会	11人
30. 5. 18～R4. 3. 16	議会改革特別委員会	9人
R4. 6. 28～	議会改革特別委員会	7人

※この他に決算審査特別委員会を隔年で設置している

(3) 地方自治法第100条第12項の規定による協議又は調整を行う場

全員協議会 : 全議員
 各派代表者会議 : 議長、副議長及び各会派の代表者
 広報広聴委員会 : 8人
 市議会だより編集委員会 : 9人

1.1 常任委員会の開催状況（令和6年1月～12月の開催状況）

委員会の名称	開催日数	審議した議案件数	審議した請願件数
総務委員会	4日	16件	0件
まちづくり委員会	4日	22件	0件
文教福祉委員会	4日	40件	0件

1.2 市議会だより

議会の活動状況を市民に周知させるため本会議、委員会などの内容を掲載。

- (1) 発行 平成17年度から市報と合冊で発行していたが、平成22年度より単独で発行。年4回（5・8・11・2月の各10日）。令和5年5月号から4色刷り（フルカラー）。
- (2) 編集 秩父市議会だより編集委員会（9名）
- (3) 型式 A4判
- (4) 頁数 14頁～16頁
- (5) 印刷方法 写植文字 オフセット印刷 4色刷り

1.3 本会議のテレビモニター生中継及びインターネット録画中継

- (1) 事業概要 定例会、臨時会の本会議を撮影して、来庁者用のテレビモニターで生中継を行うとともに、撮影した映像を使用してVOD中継映像を作成し、ASP方式によるインターネット映像配信（録画中継）を行っている。
- (2) 事業開始 平成23年6月定例会から中継開始。
- (3) その他 本会議初日（議案説明等）、議案に対する質疑、一般質問、本会議の最終日（採決等）の映像を中継している。
各日の本会議が終了してから1週間前後に配信を開始している。

1 4 令和7年度会計別歳入歳出予算総括表

会計別		予算額 (単位：千円)	構成比(AB) (単位：%)	構成比(全体) (単位：%)
一般会計 A		31,670,000	67.80	59.85
特別 会計	国民健康保険 (事業勘定)	6,598,644	14.13	12.47
	国民健康保険 (診療施設勘定)	215,956	0.46	0.41
	後期高齢者医療	991,838	2.12	1.87
	介護保険	7,071,277	15.14	13.36
	公設地方卸売市場	26,018	0.06	0.05
	駐車場事業	138,979	0.30	0.26
	計 B	15,042,712	32.20	28.43
小計 A+B		46,712,712	100.00	88.28
公営 企業 会計	病院事業	3,705,240		7.00
	下水道事業	2,494,514		4.71
小計 C		6,199,754		11.72
総計 A+B+C		52,912,466		100.00

1 5 令和7年度一般会計当初予算構成一覽表

(歳入)

款	予算額 (単位:千円)	前年比 (単位:%)	構成比 (単位:%)
1 市税	8,649,569	0.60	27.31
2 地方譲与税	324,476	3.69	1.02
3 利子割交付金	3,000	0.00	0.01
4 配当割交付金	35,000	16.67	0.11
5 株式等譲渡所得割交付金	35,000	16.67	0.11
6 法人事業税交付金	115,000	4.55	0.36
7 地方消費税交付金	1,430,000	0.00	4.52
8 ゴルフ場利用税交付金	49,000	0.00	0.15
9 環境性能割交付金	40,000	2.56	0.13
10 地方特例交付金	45,000	0.00	0.14
11 地方交付税	7,200,000	3.60	22.73
12 交通安全対策特別交付金	7,000	0.00	0.02
13 分担金及び負担金	186,304	△2.71	0.59
14 使用料及び手数料	409,335	0.25	1.29
15 国庫支出金	4,435,670	20.27	14.01
16 県支出金	1,924,452	6.87	6.08
17 財産収入	149,597	△12.05	0.47
18 寄附金	236,402	0.00	0.75
19 繰入金	2,878,357	△4.35	9.09
20 繰越金	941,901	0.74	2.97
21 諸収入	437,137	△15.19	1.38
22 市債	2,137,800	53.70	6.75
歳入合計	31,670,000	5.74	100.00

(歳 出)

款	予算額 (単位:千円)	前年比 (単位:%)	構成比 (単位:%)
1 議会費	210,422	△0.10	0.66
2 総務費	4,069,897	8.31	12.85
3 民生費	12,268,001	6.51	38.74
4 衛生費	4,002,296	6.67	12.64
5 労働費	96,825	4.68	0.31
6 農林水産業費	702,502	△8.26	2.22
7 商工費	781,781	1.30	2.47
8 土木費	2,268,460	△5.16	7.16
9 消防費	1,175,135	0.66	3.71
10 教育費	3,330,149	19.27	10.52
11 災害復旧費	4	0.00	0.00
12 公債費	2,395,921	3.05	7.57
13 諸支出金	313,737	△4.01	0.99
14 予備費	54,870	△29.58	0.17
歳 出 合 計	31,670,000	5.74	100.00

1 6 令和5年度普通会計決算の概要

(単位：千円)

区 分		令和5年度	令和4年度	対前年度比較	
		決算額	決算額	増減額	増減率(%)
歳入総額	A	33,243,377	34,459,654	△1,216,277	△3.5
歳出総額	B	30,730,243	31,906,181	△1,175,938	△3.7
歳入歳出差引額	A-B=C	2,513,134	2,553,473	△40,339	△1.6
翌年度に繰越すべき財源	D	804,403	247,070	557,333	225.6
実質収支	C-D=E	1,708,731	2,306,403	△597,672	△25.9
単年度収支	F	△597,672	28,409	△626,081	△2,203.8
積立金	G	1,205,394	1,488,612	△283,218	△19.0
繰上償還金	H	582,062	809,602	△227,540	0.0
積立金取崩額	I	1,000,000	1,050,000	△50,000	△4.8
実質単年度収支	F+G+H-I=J	189,784	1,276,623	△1,086,839	△85.1
基準財政需要額	K	15,062,807	14,999,023	63,784	0.4
基準財政収入額	L	8,442,279	8,191,402	250,877	3.1
標準財政規模	M	17,480,128	17,480,128	0	0.0
財政力指数	N	0.550	0.560	—	—
臨時財政対策債発行額	O	134,188	298,143	—	—
実質収支比率	$E \div M \times 100 = P$	9.8	13.2	—	—
実質公債費比率	Q	2.5	3.2	—	—
経常収支比率	R	88.3	85.1	—	—
地方債現在高	S	25,435,048	27,066,694	△1,631,646	△6.0
収益事業収入額	T	0	0	—	—

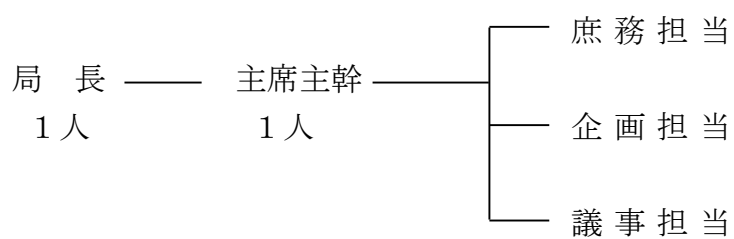
1.7 担当委員会別行政機構

(令和7年4月1日現在)

		部(局・室)、課	
総務委員会	総合政策部	総合政策課、改革推進課、秘書課、広報広聴課	
	総務部	総務課、人事課、危機管理課、情報政策課、工事検査課	
	財務部	財政課、FM推進課、管財課、市民税課、資産税課、納税課、契約課	
	市民部	市民課、パスポートセンター、市民生活課、消費生活センター、市民スポーツ課、生涯学習課、歴史文化伝承館、中央公民館、秩父宮記念市民会館、図書館	
			会計課、議会、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、各総合支所の市民福祉課
まちづくり委員会	環境部	環境課、生活衛生課、下水道課、下水道センター、聖地公園管理事務所	
	産業観光部	産業支援課、先端技術推進課、観光課	
	農林部	農業政策課、鳥獣対策課、森づくり課、全国植樹祭準備室	
	地域整備部	道路管理課、用地課、道路維持課、道づくり課、まちづくり公園課、建築住宅課	
			農業委員会、各総合支所の市民福祉課・地域振興課
文教福祉委員会	福祉部	社会福祉課、障がい者福祉課、高齢者介護課、子育て支援課、秩父地域包括支援センター、保育こども課、こども家庭センター	
	保健医療部	地域医療対策課、保険年金課、保健センター、市立病院建設準備室	
	市立病院	事務局を含めた全ての部・室・科・局 (事務局：管理課、医事課)	
		大滝国民健康保険診療所	
	教育委員会	教育総務課、学校教育課、保健給食課、文化財保護課、教育研究所	
		各総合支所の市民福祉課	

18 議会事務局の組織

定数：9人 現員：5人 (令和7年4月1日現在)



19 常勤特別職等の給与

市長 880,000円

副市長 749,000円

教育長 693,000円